

第一商業 高等学校 令和7年度（3 学年用） 教科 地理歴史 科目 東京の地理

教 科： 地理歴史 科 目： 東京の地理 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 選択科目受講者

教科担当者：（Y選択：奥澤 知）

使用教科書：（ 帝国書院『標準高等地図』 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知 識 及 び 技 能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める

科目 東京の地理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
東京都・渋谷区の地理に関わる諸事象に関して、生活文化の多様性や、防災、地域の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	東京都・渋谷区地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	東京都・渋谷区の地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される都民としての自覚や多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 東京都の生活文化の多様性・理解 【知識および理解】東京都の生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解する。 東京都の生活文化の背景となるものや、東京都の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身につける。 【思考力、判断力、表現力】地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、東京都の生活文化がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】東京都の生活文化を理解し、共生を	○指導事項 ・東京都の位置・面積 ・東京都の地形 ・東京都の人口・産業 ・東京都の観光・交通・文化 ○教材 ・地図帳 ・プリント、資料 ・地形図 ・東京都や渋谷区の地図 ○一人1 台端末の活用 等 ・Teamsでのデータ共有、課題配信 ・地理院地図 ・jSTAT MAP ・デジタルノート（教科書準拠）	【知識・理解】東京都の生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。 東京都の生活文化の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 【思考・判断・表現】地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、東京都の生活文化がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】東京都の生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	11
	B 渋谷区の生活文化の多様性・理解 【知識および理解】渋谷区の生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解する。 渋谷区の生活文化の背景となるものや、渋谷区の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身につける。 【思考力、判断力、表現力】地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、渋谷区の生活文化がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】渋谷区の生活文化を理解し、共生を	○指導事項 ・渋谷区の位置・面積 ・渋谷区の地形 ・渋谷区の人口・産業 ・渋谷区の観光・交通・文化 ○教材 ・地図帳 ・プリント、資料 ・地形図 ・東京都や渋谷区の地図 ○一人1 台端末の活用 等 ・Teamsでのデータ共有、課題配信 ・地理院地図 ・jSTAT MAP ・デジタルノート（教科書準拠）	【知識・理解】渋谷区の生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。 渋谷区の生活文化の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 【思考・判断・表現】地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、渋谷区の生活文化がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】渋谷区の生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	11
	C 東京都と渋谷区の防災 【知識および理解】東京都と渋谷区の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解する。 【思考力、判断力、表現力】どのような自然災害がどのような場所や、東京都と渋谷区の自然災害にはどのような特徴があるのか、どのような防災・減災への取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性】自然環境には災害と恩恵の両側面があり、人々が生活していくうえで必	○指導事項 ・東京都の自然災害と防災の取り組み ・渋谷区の自然災害と防災の取り組み ○教材 ・地図帳 ・プリント、資料 ・地形図 ・東京都や渋谷区の地図 ○一人1 台端末の活用 等 ・Teamsでのデータ共有、課題配信 ・地理院地図	【知識・技能】東京都と渋谷区の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解している。 【思考・判断・表現】どのような自然災害がどのような場所や、東京都や渋谷区の自然災害にはどのような特徴があるのか、どのような防災・減災への取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】自然環境には災害と恩恵の両側面があり、人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1

2 学 期	D渋谷区の調査と地域の展望 【知識および理解】生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解する。 生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたについての技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力】事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや、現地調査の結果をどのように分析・整理するのか、他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】生活圏の調査の結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだす。	○指導事項 ・地理的調査の方法 ・フィールドワーク ・展望台より渋谷区を俯瞰する ・原宿、表参道の調査 ・渋谷センター街の調査 ・渋谷川暗渠の調査 ・恵比寿の調査 ・渋谷区白根記念郷土博物館での調査 ・各自設定したテーマの調査・探究 ○教材 ・教科書（地図帳含む） ・プリント、資料 ・地形図 ・世界地図・日本地図 ○一人1台端末の活用 等 ・Teamsでのデータ共有、課題配信 ・地理院地図 ・jSTAT MAP ・デジタルノート（教科書準拠）	【知識・理解】生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解している。 生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたについての技能を身につけている。 【思考・判断・表現】事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや、現地調査の結果をどのように分析・整理するのか、他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】生活圏の調査の結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。		○	○	22
	D渋谷区の調査と地域の展望（続き） 【知識および理解】生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解する。 生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたについての技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力】事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや、現地調査の結果をどのように分析・整理するのか、他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】生活圏の調査の結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだす。	○指導事項 ・各自設定したテーマの調査・探究 ○教材 ・教科書（地図帳含む） ・プリント、資料 ・地形図 ・世界地図・日本地図 ○一人1台端末の活用 等 ・Teamsでのデータ共有、課題配信 ・地理院地図 ・jSTAT MAP ・デジタルノート（教科書準拠）	【知識・理解】生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解している。 生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたについての技能を身につけている。 【思考・判断・表現】事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや、現地調査の結果をどのように分析・整理するのか、他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】生活圏の調査の結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。		○	○	18
3 学 期							合計
							70